

特集 医師の働き方改革 開始報告

当院の医師働き方改革への対応について

JCHO千葉病院 院長
岡住 慎一

JCHO千葉病院は160床の急性期2病棟、地域包括ケア1病棟の構成の中規模病院です。

常勤医師は20名弱で、平均年齢は50歳超での状況で、JCHOグループの重点事業の地域医療推進・救急応需に取り組んでいます。当院の歴史は50年余で、透析医療に重点をおいて拡張を重ね、現在70床の透析センターにて1日150人超の外来・入院透析患者を診療しており、併存疾患の管理と初診紹介患者の診療を行う内科系、外科系診療科、健診センター（院内・健診バス）を合わせて診療体制を構築しています。現状は、諸経費の上昇、コロナ後の外来患者減を背景として、入院病床利用率85%以上の維持と、透析稼働100%、健診業務100人超/日が、経営維持の最低ラインとなっています。すなわち、働き方改革の方向性は、これらを達成する方向と重ならなければなりません。

本年4月から当院が選択した方針は、超過勤務A水準、休日および平日21時から翌朝までの宿日直体制であります。JCHO事業の救急医療は、平日8:00~21:00に集中することとしました。消防にもお伝えし、千葉市のSMART119システムにも参加して、効率的に救急応需増加、入院増加を図っています。この体制でまず1年間施行し、超過勤務、労働量、疲弊度、経営状態を分析し、またご報告したく存じます。

